

研究結果報告書

中日韓における物流協力の展開と課題

所属：吉林大学 東北亜研究院 世界経済研究所

役職：副教授

氏名：李 紅梅

本研究の題目は「中日韓における物流協力の展開と課題」で、本研究の目的は、2014年に稼働し始めた「NEAL-NET」と呼ばれる北東アジア物流情報サービスネットワーク形成の成果をフィールドワークを交えて実証的に検証し、これにより「NEAL-NET」の政策評価を試みることである。

本研究では、まず2006年以降から現在に至るまでの中日韓3国間物流協力の目標や方向性、連結性の現状について整理を行った。とりわけ、連結性強化の一環としての「NEAL-NET」の利用状況を把握するために、対象となる港湾（2018年9月20日現在：中国15港、日本7港、韓国5港）の現地関係者へのインタビュー調査を行ったうえで、それぞれが抱えている問題や解決すべき課題について分析し、次の結論に至った。第一に、中日韓3国間物流協力において、物流インフラの連結と技術分野の連携がいかに重要なかを明らかにした。第二に、3国間港湾物流情報システムの連携において、政府間協力だけでなく、民間レベルでの活発的な対話や参与の重要性も指摘した。第三に、各国イニシアチブでの連携だけでなく、第三国市場での協力といった広域的な多国間協力枠組みの中での3国間協力の在り方を模索していく必要性を強調した。

今後の課題としては、いかに「NEAL-NET」の継続的改善や、戦略的展開を図って行くべきかがあげられる。3国間物流協力は、中日韓全体の経済発展のために不可欠であることから、今後も「NEAL-NET」新規対象港の拡大、質の高い「NEAL-NET」の普及、システム連携のための制度作りや技術・運営ルールの策定などにおける長期的な対話が想定される。したがって、「NEAL-NET」専門家会合による対話を一層活発化していくと同時に、3国における研究者ネットワークを構築し、もっと多くの研究者の参画と人材育成を図って行くことが望ましいと考えている。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

- ◆ 「一带一路」イニシアチブの下で中日第三国市場における物流協力の機運と挑戦、李紅梅、全国日本経済学会2019年年会、2019年6月15日、岷江東湖飯店(四川省眉山市)
- ◆ 「一带一路」イニシアチブの下で国際物流分野における中日両国間協力に関する研究、李紅梅、「一带一路」イニシアチブと中日第三国市場協力国際フォーラム、2019年8月23日、吉林大学匡亚明楼(吉林省長春市)
- ◆ 中日韓物流協力に関する一考察、李紅梅、北東アジア学会第25回学術研究大会、2019年9月29日、信州大学経法学部(長野県松本市)
- ◆ 中日韓物流協力の現状と課題—物流インフラの連結性強化を中心に、李紅梅、「一带一路」イニシアチブのもとで東北アジア経済発展の新たな可能性—物流と環境の視点から、2019年12月7日、明治大学駿河台キャンパス研究棟(東京都)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

- ◆ 「一带一路」枠組みの下で中日両国物流協力に関する研究、李紅梅、日本経済ブルーブック—日本経済と中日経済貿易関係研究報告(2019)中国改革開放40年と日本、2019年5月

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

- ◆ 新時代地域間物流協力と「一带一路」、李紅梅編著、吉林大学出版社、2020年度内出版を予定